

2. 5 廻田端自詭罪

評価項目	評価設問		情報・指標	評価結果
	大項目	小項目		
1. 妥当性	3-1 マルクの平和構築に対する上位目標の妥当性	3-1-1 上位目標はインドネシアの開発政策と合致しているか	インドネシア政府の平和構築政策/指針との合致	マルクの平和構築と住民融和はインドネシア政府およびマルク州政府とによって重要な課題である。上位目標はインドネシア政府の国家開発計画及びマルク州開発戦略と合致している。
		3-1-2 上位目標は地域のニーズと一致しているか	対象地域のニーズとの一致	マルク州において紛争被害からの復興過程において、プロジェクトは、その実施時期とその他のアプローチにおいて適切であった。紛争はマルク州全体で発生したが、プロジェクトは最も被害を受けた地域を対象として実施された。活動対象地域の選定においては、イスラムとキリスト両宗教の住民グループに対して公平に機会を与えられよう配慮された。これらの観点から、プロジェクトは地域のニーズに対して適切に対応したと思われる。
		3-2-1 上位目標、プロジェクト目標、成果、及び、活動による構成は適切か	計画時と現状の構成の比較	プロジェクトは三つの活動の柱で構成されており、これらは復興過程における住民生活の再建に重要な貢献をするとして計画された。プロジェクトを通じて、対象住民グループの活動が活性化し、地域社会が多様化する事が期待された。この観点からプロジェクトの構成は適切であったと思われる。
		3-2-2 対象地域の選定は適確であったか	計画時の選定状況	プロジェクトは三つの活動の柱で構成されており、これらは復興過程における住民生活の再建に重要な貢献をするとして計画された。プロジェクトを通じて、対象住民グループの活動が活性化し、地域社会が多様化する事が期待された。この観点からプロジェクトの構成は適切であったと思われる。
	3-2 プロジェクト・デザインの適確性	3-2-3 紛争地域への支援としての妥当性	紛争地域、地域融和への配慮	安全上の理由から日本専門家の投入は制限されたが、プログラムオフィサーやファイナルドコンサルタント等の現地の人材が有効に活用され、両者の組み合わせによって活動が効果的、効率的に実施された。
		3-2-4 プロジェクト・マネージメントは十分に検討されていたか	地域の人材資源活用、活動のモニタリング状況	安全上の理由から日本専門家の投入は制限されたが、プログラムオフィサーやファイナルドコンサルタント等の現地の人材が有効に活用され、両者の組み合わせによって活動が効果的、効率的に実施された。
		3-3-1 日本の開発援助及びJICAの技術協力としての妥当性であったか	日本開発援助及びJICAの技術協力としての妥当性	平和構築は日本の政府開発援助大綱の優先項目であり、JICAの対インドネシア国別専門計画においても重要な支援項目となっている。プロジェクトの上位目標とプロジェクト目標は日本の支援として必要なものとして位置づけられている。
	3-3 日本の政府開発援助としての妥当性	3-3-2 日本の技術的優位があるか	他ドナー機関の支援事業との比較	JICAは、インドネシアにおける事業の実施において、コミュニティへの直接的な支援経験が豊富であり、これらの経験をプロジェクトの有効活用することが可能であった。
		4-1 プロジェクト目標の達成度	プロジェクト目標の達成は計画時に設定されていたものか	対象地域において、プロジェクトの活動時期や活動における投入は制限されたものであったが、プロジェクト目標の達成は予定されたと思われる。二本柱の活動は、コミュニティの再建に効果的であった。特に、〈社会〉の柱の教育分野への支援において、POBプログラムの導入によるコミュニティと学校関係者の協働による教育環境の改善は大きな進展を見せた。
		4-1-2 プロジェクト達成における阻害要因	プロジェクト達成における阻害要因	平和構築は日本の政府開発援助大綱の優先項目であり、JICAの対インドネシア国別専門計画においても重要な支援項目となっている。プロジェクトの上位目標とプロジェクト目標は日本の支援として必要なものとして位置づけられている。
2. 効果 (斜体字部については「プロジェクトの実績」を参照)	4-2 プロジェクト目標達成におけるプロジェクト・デザインの適確性	4-2-1 〈経済〉の柱の効果	プロジェクトの実績/を参照	〈経済〉の柱の「経済活性化」における活動は、対象グループの経済活動への再開に貢献し、住民が動機を持って取り組むことが出来た。
		4-2-2 〈社会〉の柱の効果	プロジェクトの実績/を参照	教育分野への支援において、参加型の学校運営とモニタリングシステムの導入によって、中学校教育における透明性の確保と説明責任に対する意識の向上が見られた。授業環境は、保護者による学校施設の修繕と教師及び学校間の交流によって著しく改善された。
		4-2-3 〈安全〉の柱の効果	プロジェクトの実績/を参照	早期警戒対応システムの構築のための研修への参加者は、それぞれの村政府によって公式にピースエージェントとして任命された。研修参加者の選出は、コミュニティにおける公平性の確保が重要とされている。ピースエージェントとなった参加者は、村長によって選出された。一方、仲介者/交渉者要請研修への参加者はコミュニティ内の議論によって選出された。
3. 効率性 (斜体字部については「プロジェクトの実績」を参照)	5-1 〈経済〉、〈社会〉、〈安全〉の柱における成果の達成状況	5-1-1 成果の達成は計画時に設定したとおりか	プロジェクトの実績/を参照	〈経済〉、〈社会〉、〈安全〉の柱における成果は十分に達成された。
		5-1-2 成果達成における阻害要因	プロジェクトの実績/を参照	コミュニティ・ホルの建設は、そのための用地取得に支障を来したことから実施されなかった。
		5-2 活動の効率性	プロジェクトの実績/を参照	アウトプット達成のための活動は十分に行われた。特に、現地人材の活用とその日本人専門家との組み合わせは効果的であった。
3. 効率性 (斜体字部については「プロジェクトの実績」を参照)	5-3 投入の成果達成における適確性(投入時期、投入内容、投入の量と質は適切であったか)	5-3-1 日本側の投入は適切であったか	プロジェクトの実績/を参照	日本人専門家の投入は限定されていたが、彼らによる現地人材の活動の監督と、その技術的な支援は効果的であった。
		5-3-2 現地資源の活用	プロジェクトの実績/を参照	プログラムオフィサーやファイナルドコンサルタント等の現地の人材との有効に活用され、両者の組み合わせによって活動が効果的、効率的に実施された。
		5-3-3 機材供与(種類、数、時期)	プロジェクトの実績/を参照	経済活動に必要な資機材は対象グループの住民に速やかに供与され、彼らの活動に実施に貢献した。

	<p>5-3-2 インドネシア側の投入は適切であったか</p> <p>5-3-3 投入の活用度合いは十分であったか</p> <p>5-3-4 プロジェクト・マネージメントは効果的であったか</p>	<p>カウンタートパートの配置（人数、時期、分野）</p> <p>プロジェクト活動への経費負担</p> <p>プロジェクトの実績を参照</p> <p>プロジェクトの実績を参照</p>	<p>教育分野において、プロジェクトの効果を持続するための積極的な介入と貢献が教育局スタッフに関するしては、なされなかった。</p> <p>経済活性化分野における対象グループへの資機材供与や教育分野の対象中学校に対する学校配賦金への支出など、活動実施経費は迅速かつ、効果的に活用された。</p> <p>日本人専門家とインドネシア側カウンタートパートのコミュニケーションは良好に保たれた。また、合同調整委員会は各半期毎に計8回開催され、関係者間での情報共有と意見交換が行われた。</p>
<p>4-1 プロジェクト実施による長期的、他の領域へのインパクト</p>	<p>6-1-1 上位目標は達成可能か、阻害要因はありうるか</p> <p>6-1-2 プロジェクトによるポジティブなインパクトはあったか</p>	<p>それぞれの対象グループ住民活動は、プロジェクト終了時点では継続されており、将来的にも持続していくことが予想される。このことから、地域住民の生活が活性化、多様化することが期待される。</p>	<p>＜経済＞の注： 活動実施において、活動を実施したハイムラダ子チームと地域住民、地方政府との関係性が改善した。また、対象グループ住民への研修の実施の中で、イスラム及びキリストの教徒が同居し、関係性の向上に努めた。一方、爆製機器の供与について、対象地域を巡察したインドネシア政府の高官が同機器の効果を確認し、同様な機器を他の地域に供与した。</p> <p>＜社会＞の注： 教育分野への支援において、国内避難民であった児童が学校に通った際に、地域の治安が改善したことにより宗教に拘らずに学校を卒業するなど、住民間での融和が進んだ事例が多く確認された。また、アンボン市政府は、プロジェクトで導入した学校運営改善のためのアプローチの効果を認識し、市政府自身の予算を使用して同アプローチの実施を行うことを意図するようになった。更に、対象地域外の郡において、郡教育開発委員会を結成して、学校運営改善を試みる動きも見られた。</p> <p>＜安全＞の注： バグワラ郡において、両宗教徒間の交流が進展し、住民が治安の改善したと認めるようになった。また、従来、コミュニティにおいて、紛争が発生した場合には警察や村政府に頼るだけであり主体的な解決方法を持たなかったが、ピースエージェンツ(公式)や仲介者/交渉者(非公式)の任命によって、地域における紛争の解決の解決のメカニズムを得ることが出来た。</p>
<p>4. インパクト（個体字部については「プロジェクトの実績」を参照）</p>	<p>6-1-3 プロジェクトによるネガティブなインパクトはあったか</p>	<p>プロジェクトによるネガティブなインパクト</p>	<p>＜経済＞の注： 対象グループの活動が継続していることが確認された。また、活動を実施したハイムラダ子チームと住民グループの関係性も維持されていた。</p> <p>＜社会＞の注： 教育分野において、プロジェクトで得られた効果を維持するために必要と思われる、財政・管理を含めた組織的な能力もプロジェクト実施期間中には行われなかった。</p> <p>＜安全＞の注： 早期警戒と対応システム構築研修のモジュールが完了し、インドネシア国内で広く活用することが期待される。一方、ピースエージェンツとして任命された住民による活動はボランティアとして実施されており、村政府からの支援と共に、高い士気による動機付けや、他住民からの信頼が不可欠の条件となる。また、各村の仲介者/交渉者の活動を支援するために、ネットワーキングがバグワラ郡によって作られ、今後の交流の促進が期待される。</p>
<p>5. 持続性（予測）</p>	<p>7-1-1 プロジェクトの効果を持続するために必要な政策や制度は充足されるか</p> <p>7-1-2 プロジェクト効果を持続するために必要な予算の確保や組織的措置が行われるか</p> <p>7-1-3 プロジェクトにより支援された組織等が技術を維持していくことが可能か</p>	<p>関連する政策や制度の情報</p> <p>活動継続に必要な予算及び組織的措置</p> <p>移転された技術の維持</p>	<p>＜経済＞の注： 対象グループの活動が継続していることが確認された。また、活動を実施したハイムラダ子チームと住民グループの関係性も維持されていた。</p> <p>＜社会＞の注： 教育分野において、プロジェクトで得られた効果を維持するために必要と思われる、財政・管理を含めた組織的な能力もプロジェクト実施期間中には行われなかった。</p> <p>＜安全＞の注： 早期警戒と対応システム構築研修のモジュールが完了し、インドネシア国内で広く活用することが期待される。一方、ピースエージェンツとして任命された住民による活動はボランティアとして実施されており、村政府からの支援と共に、高い士気による動機付けや、他住民からの信頼が不可欠の条件となる。また、各村の仲介者/交渉者の活動を支援するために、ネットワーキングがバグワラ郡によって作られ、今後の交流の促進が期待される。</p>

### 3. プロジェクトの達成度

評価項目	評価設問		情報・指標	評価結果
	大項目	小項目		
A. プロジェクトの達成度の達成度	1-1 上位目標の達成予測	1-1-1 異なるコミュニティ間での協力活動の増加はあるか	対象地における住民間の融和の状況の変化	それぞれの対象グループの住民活動は、プロジェクト終了時点では継続されており、将来的にも継続していくことが予想される。このことから、地域住民の生活が活性化、多様化することが期待される。
		1-1-2 上位目標達成への阻害要因はあるか	上位目標達成に対する外部要因、予想外の要因等	<経済> <安全>の柱においては現状では特に確認はされていない。<社会>の柱の教育分野においては、アンボン市政府教育局スタッフの能力向上が必要となると考えられる。
	1-2 プロジェクト目標の達成度	1-2-1 三本柱の成果によるコミュニティの変化はあったか	プロジェクト実施期間中の対象地域のコミュニティの生活の変化等	プロジェクトの活動時期や活動における投入は制限されたものであったが、プロジェクト目標は達成されたと思われる。三本柱の活動は、それぞれにコミュニティの再建に効果的であった。特に、<社会>の柱の教育分野への支援環境において、POBプログラムの導入によるコミュニティと学校関係者の協働による教育環境の改善は大きな進展を見せた。
		1-2-2 三本柱の成果による相乗効果はあったか	プロジェクト実施期間中の対象地域のコミュニティの生活の変化等	
		1-2-3 プロジェクト目標達成に対する阻害要因はあったか	プロジェクト目標達成に対する外部要因、予想外の要因等	
	成果 1 <経済>	1-3-1 村毎の経済活動に参加した人数、世帯数、経済活動の種類等の増加はあったか	経済活動の多様化、経済活動に参加する人員数	a) 経済活動の活性化: 農業分野への支援では、二つの郡の農民グループ(メンバー数は合計170人)が研修に参加し、終了後に経済活動に必要な資機材の供与が行われた。漁業分野では 21の農民グループ(メンバー合計129人)が同様に参加した。終了時評価時点では、ほとんどのグループが活動を継続しており、生活の再建を行っている。 b) 地場産業支援: アグリ・ビジネス研修が実施され、上級コースでは州政府、大学のスタッフ、計90人が研修を受けた。参加者と研修コースの内容は合致しており、好評を得た。一方、基礎コースでは、小規模企業者60人が研修を受講したが、参加者の基礎的能力が不足しており研修内容と合致しなかった。
1-3-2 産業振興のためのコミュニティ・メンバーや地方政府職員的能力は向上したか		経済活動の多様化、経済活動に参加する人員数	マルクの伝統的な価値観である兄弟関係に重点を置いて住民の融和を促進するPOB (Pedagogi Orang Basudera)教育を、学校主体の運営 (Scholl Based Management) 手法により導入した。対象となる中学校は、計34校であった。(バグワラ郡18校、レヒツ郡16校) 対象校において、1)学習環境の改善、2)学習プロセスの改善、3)ローカル・コンテンツの導入(地域文化、歴史、地球社会の伝統等)で住民間の理解と融和を促進することを目的としてコミュニティ・ホルールの建設が計画された。しかし、必要となる土地の取得に係る手続きを州政府が出来なかったことから、同ホルールの建設は中止された。その代替措置として、アンボン市の環境美化の活動が実施された。また、複数の村を対象として住民融和のためのワークショップが実施された。	
成果 2 <社会>	1-3-3 対象中学校における学校間、学校内での活動の増加、POBにおけるローカル・カリキュラムの開発はなされたか	学校及びコミュニティ主導による活動の増加と多様化	紛争予防のためのファンリテーター研修が実施され、79人が対象地域の村から参加した。参加者は、各村において、紛争予防のため仲介者/交渉者として活動を開始した。一方、早期警戒対応システム構築のための研修が実施され、30名が参加した。同参加者は、それぞれの村政府によって公式にピースエージェンツとして任命され、コミュニティで発生する様々な問題に日々、対処している。	
成果 3 <安全>	1-3-4 コミュニティ住民の参加によるコミュニティ・ホルールの建設は実施されたか	コミュニティの住民間の協働活動の増加	上記のとおり、住民間の理解と融和を促進することを目的としてコミュニティ・ホルールの建設が計画されたが、必要となる土地の取得に係る手続きを州政府が出来なかったことから、同ホルールの建設は中止された。	
1-3-5 総計警戒対応システム構築のためのコミュニティ住民の数の増加	紛争予防と解決を行う訓練されたファンリテーターの人数の増加	紛争予防と解決を行う訓練されたファンリテーターの人数の増加	プロジェクト形成及び活動の調整を行うため計3人の長期専門家が派遣された。(計38MM)。また、短期専門家は、計5人が派遣された。(9 MM) 現地の人材としてマールク事業事務所(MPO)に駐在するプログラム・オフィサーや教育分野で活動するフィールド・ファンリテーターなど、計10人が活動に加わった。現地における活動実施経費は、2006年度(2006年6月から2007年3月)はRp.4,930,0165,552であり、2007年度(2007年4月から同年12月)ではRp.1,156,580,200であった。現地活動実施経費の総額は Rp.6,086,575,752であった。	
三本柱の活動に対する投入	1-3-6 成果達成に対する阻害要因はあったか	成果達成に対する外部要因、予想外の要因等	マルク事業事務所(MPO)が設置された活動の実施管理を行った。また、各活動の柱に別して各一人のオフィサーが配置された。(同時に事務担当も配置された。)。事務的経費は、2006年度はRp.661,930,000、2007年度はRp.771,930,000、計Rp.7,520,430,765である。	
プロジェクト運営における投入	日本側の投入の概要(本邦より)	人的、資金的、物的投入の内容		
プロジェクト運営における投入	日本側投入の概要(現地資源の活用)	人的、資金的、物的投入の内容		

インドネシア側の投入	インドネシア側投入の概要	人的、資金的、物的投入の内容	プロジェクトの実施プロセスの適確性
2. プロジェクトの実施プロセス	2-1-1 活動は計画どおりに実施されたか	人的、資金的、物的投入の内容 計画時の内容と実際の活動実施状況の相違	プロジェクトを実施するためのカウンターパートの配置がインドネシア政府、マルク州政府、アンボン市政府、中央マルク州政府で任命された。また、MPOの設置場所として、アンボン市政府の庁舎の一室が提供され、プロジェクトの円滑な実施に貢献した。
	2-1-2 日本人専門家からインドネシア人カウンターパートへの技術移転は適切であったか	インドネシア人カウンターパートの能力開発の状況と知見の蓄積	日本人専門家からカウンターパートへの技術移転はアンボン市教育委員会を通じて必要であったが、同局スタッフの活動への参加は十分に行われなかった。
	2-1-3 カウンターパートのプロジェクト活動への参加は十分であったか	カウンターパートのプロジェクト活動への参加度	教育分野においては、各郡の教育関係者や学校関係者(校長、教師)はプロジェクトの活動に積極的に参加した。上述のとおり、教育局スタッフの参加は十分ではなかった。
	2-2-1 プロジェクト活動のモニタリングはどのように行われたか	モニタリング・システムとその機能—モニタリング実施計画とその結果	対象グループの活動は定期的にモニタリングされていた。しかし、教育分野を除いて、モニタリング結果に関する分析はなされなかった。
	2-2-2 プロジェクト活動における日本人専門家とインドネシア人カウンターパートの関係性は良好であったか	日本人専門家とインドネシア人カウンターパートのコミュニケーション状況	日本人専門家とインドネシア側カウンターパート、現地活動実施団体(大学チーム等)のコミュニケーションは良好に保たれた。
	2-2-3 プロジェクトの運営における意思決定は適切に行われたか	プロジェクト監督、管理運営に関する協働調整会議、その他の会合等の開催状況	日本人専門家とインドネシア側カウンターパートのコミュニケーションは良好に保たれた。また、合同調整委員会は各四半期毎に計6回開催され、関係者間での情報共有と意見交換が行われた。
	2-3 その他(紛争地域への配慮事項等)	紛争地域や異なる宗教への配慮	紛争はマルク州全体で発生したが、プロジェクトは最も被害を受けた地域を対象として実施された。活動対象地域の運営においては、イスラムとキリスト両宗教の住民グループに対して公平に機会を与えられようように配慮された。
	2-3-2 プロジェクト活動におけるその他の考慮事項など	プロジェクト活動に対する外部要因、予想外の要因等	特に確認されていない。

4. 新規プロジェクトPDM (兼)、PO (兼)

Version PDM0  
Date: 2008.02.25

プロジェクト名: マルク州・紛争後の地域に開かれた学校づくりプロジェクト  
実施期間: 2008年6月～2011年5月(3ヶ年)  
ターゲット・グループ: 対象地域: アンボン市(5郡)、中央マルク県(2郡)内の中学校(約70校)

スーパージョー	プロジェクト要約	指標	指標入手手段	外部要因
<p>スーパージョー</p> <p>対象地の前期中等教育における教育の質(教授法の改善)が向上する。</p> <p>紛争後の対象地域において、地域に開かれた学校運営が前期中等教育において定着する。</p> <p>上位目標</p>	<p>スーパージョー</p> <p>対象地の前期中等教育における教育の質(教授法の改善)が向上する。</p> <p>紛争後の対象地域において、地域に開かれた学校運営が前期中等教育において定着する。</p> <p>上位目標</p>	<p>指標</p> <p>1 対象校における教授法の改善による授業の質の向上(Advanced quality) - 対象校における生徒のテスト結果、学習能力、態度の向上、</p> <p>2 対象校における学校施設の改善による教育環境の改善(Basic quality) - 対象校における教室数、実験施設、科目毎の教材数、対生徒における教師数</p> <p>対象地域の全ての学校において、以下の要素が満たされた学校主体経営(SBM)によって運営されている</p> <p>①透明性の確保(学校開発計画、予算策定における)</p> <p>②説明責任の保持(コミュニティへの情報開示と共有)</p> <p>③学校運営への参加度(教師、コミュニティ)</p> <p>④リーダーシップの発揮(校長による展望、目標提示と計画の実施)</p>	<p>指標入手手段</p> <p>アンボン市政府教育分野書類、報告書他</p> <p>アンボン市政府教育分野書類、報告書他</p> <p>(以下に同じ)</p>	<p>外部要因</p> <p>(以下に同じ)</p>
<p>プロジェクト目標</p> <p>POBプログラムの導入を通じて、対象地域の前期中等教育学校運営に係る教育関係者の能力が開発される。</p>	<p>プロジェクト目標</p> <p>POBプログラムの導入を通じて、対象地域の前期中等教育学校運営に係る教育関係者の能力が開発される。</p>	<p>(アンボン市)</p> <p>1 「学校運営ガイドライン」に則って運営される学校数が、00%に達する。</p> <p>2 学校運営のための「共通フォーマット」の適用率が00%に達する。</p> <p>3 地域の特性や文化を生かした授業の実践を導入した学校が00%に達する。</p> <p>4 対象校のデータ、モニタリング結果に基づいてPOBプログラム実施の予算が算出される。</p> <p>5 アンボン市政府教育局が、POBプログラムの導入効果、エンドライン調査結果について、マルク州政府や州内の他県政府関係者に対して説明を行う。(中央マルク県)</p> <p>(上記の1と3を適用)</p>	<p>プロジェクト活動報告書、関係資料。ベース・ライン調査、エンド・ライン調査の比較検討。</p> <p>アンボン市政府教育分野書類、報告書他、プロジェクト活動報告書、プロジェクト資料他</p> <p>プロジェクト活動報告書、関係資料。ベース・ライン調査、エンド・ライン調査の比較検討。</p> <p>プロジェクト活動報告書、関係資料。ベース・ライン調査、エンド・ライン調査の比較検討。</p> <p>プロジェクト活動報告書、関係資料。ベース・ライン調査、エンド・ライン調査の比較検討。</p>	<p>宗教紛争が再発しないこと。</p> <p>(以下に同じ)</p>
<p>成果</p> <p>A1 POBプログラムの導入計画が市政府教育マスタープランに沿って計画される。</p> <p>A2 POB導入に必要なツール(ガイドライン、フォーマット等)、カリキュラムが策定される。</p> <p>A3 研修やOJTを通じて、教育関係者がPOBプログラムの運営に必要な知識を習得する。</p>	<p>成果</p> <p>A1 POBプログラムの導入計画が市政府教育マスタープランに沿って計画される。</p> <p>A2 POB導入に必要なツール(ガイドライン、フォーマット等)、カリキュラムが策定される。</p> <p>A3 研修やOJTを通じて、教育関係者がPOBプログラムの運営に必要な知識を習得する。</p>	<p>2008年0月までに「POBプログラム導入計画」が完成している。</p> <p>2009年0月までに、「運営ガイドライン」、「モニタリング・ガイドライン」、「共通フォーマット」が完成している。</p> <p>アンボン市教育局によって、ガイドラインやフォーマットが正式に採用される。</p> <p>教育局職員、視学官、校長、教員等を対象に実施された研修数、参加者数</p> <p>2010年度において、市政府予算、BOSの適用によってすべてのPOBプログラムの実施がされる。</p>	<p>プロジェクト実施関係資料、報告書。</p> <p>プロジェクト実施関係資料、報告書。</p> <p>プロジェクト実施関係資料、報告書。アンボン市政府資料、教育関係者インタビュー等。</p> <p>プロジェクト実施関係資料、報告書。アンボン市政府資料、教育関係者インタビュー等。</p> <p>プロジェクト実施関係資料、報告書。アンボン市政府資料、教育関係者インタビュー等。</p>	<p>(以下に同じ)</p>

<p>A4 POBプログラムの実施状況をモニタリングし、改善点が検討される。</p> <p>(中央マルク県) CM1 POBプログラムが対象郡の全中学校において展開される(アンボン島内)</p> <p>CM2 研修やOJTを通じて、教育関係者がPOBプログラムの運営に必要な知識を習得する。</p> <p>(全体) Ge POBプログラムの経験とその導入効果について、マルク州政府他、州内の他の県政府や教育関係者と共有される。</p>	<p>1 2010年度において、アンボン市内の対象校におけるPOBプログラムの導入が100%となる。</p> <p>2 市政府教育局関係者、JSC等における定期会合におけるPOBプログラムの検証と提言の実行の有無。</p> <p>2010年度までに、(アンボン島内の)中央マルク県の全ての対象校でPOBプログラムが導入されている。</p> <p>教育局職員、視学官、校長、教員等を対象に実施された研修数、参加者数</p> <p>POBプログラムの導入効果を図るエンドライン調査の実施とその分析結果を報告、共有するワークショップの開催の有無</p>	<p>プロジェクト活動報告書、関係資料、ペー・ライン調査、エンド・ライン調査の比較検討。</p> <p>プロジェクト実施関係資料、報告書。アンボン市政府資料、教育関係者インタビュー等。</p> <p>プロジェクト実施関係資料、報告書。中央マルク県政府資料、教育関係者インタビュー等。</p> <p>プロジェクト実施関係資料、報告書。中央マルク県政府資料、教育関係者インタビュー等。</p> <p>プロジェクト実施関係資料、報告書。中央マルク県政府資料、教育関係者インタビュー等。</p>	<p>アンボン市政府の教育行政がマスタープランによって実施される。</p> <p>アンボン市政府の教育分野の予算が確保される。</p> <p>マルク州政府の開発方針が変更されない。</p>
<p>投入</p>	<p>投入</p>	<p>投入</p>	<p>投入</p>
<p>活動 (アンボン市)</p> <p>A1-1 市教育マスタープラン実施チームと調整の上で、POB推進チームを編成する。</p> <p>A1-2 SBM導入における市教育局の管理運営体制の現状及び実施段階における課題を整理、把握する(ペー・ライン調査を含む)。</p> <p>A1-3 学校配賦金支給に備えて、アンボン市内の対象校に関する必要なデータを収集する。</p> <p>A1-4 実施した調査から得られたデータの整理と分析を行う。</p> <p>A1-5 アンボン市政府側の教育マスタープランや予算計画との調整を行い、「POBプログラム導入計画」を策定する。</p> <p>A2-1 POBプログラムの「学校運営ガイドライン」を検証し、市政府の既存ガイドラインと統合する。</p> <p>A2-2 POBプログラムの「モニタリング・ガイドライン」を検証し、市政府の既存モニタリング・ガイドラインと統合する。</p> <p>A2-3 POBプログラムで用いた各種の「フォーマット」を検証し、市政府の既存フォーマットと統合する。</p> <p>A2-4 POBプログラムで用いたローカル・コンテンツを取り入れたカリキュラムを検証し、アンボン市政府で制式化する。</p> <p>A2-5 対象校へ配布する学校交付金が各校の基本データに基づいて適正に算出される。</p> <p>A3-1 「POB導入計画」に基づいて、教育局、学校関係者への研修計画を策定する。</p> <p>A3-2 教育局関係者へのガイドライン、フォーマットの使用に係る研修を実施する。</p> <p>A3-3 視学官を対象に、モニタリングに係る研修を実施する。</p> <p>A3-4 郡教育開発委員会メンバーへの研修を実施する。</p> <p>A3-5 対象地域の学校を対象に学校開発・年間計画策定能力強化研修(GOPSEP)を実施する。</p>	<p>投入</p>	<p>投入</p>	<p>投入</p>
<p>投入</p>	<p>投入</p>	<p>投入</p>	<p>投入</p>

- A4-1 対象校におけるPOBプログラムの導入状況を把握する「POBプログラム進捗管理フォーマット」を作成する。
  - A4-2 「POBプログラム進捗管理フォーマット」を使用し、各校のモニタリングを実施する。(通年)
  - A4-3 市政府教育局関係者(マスタープラン実施チーム、視学官他)との進捗状況確認の定期会合を四半期に一回づつ開催する。
  - A4-4 POBプログラムの実施状況を検証し、アプローチなどの必要な改善を行う。
  - A4-5 JSCIにおいて、各校のPOBプログラム進捗状況を報告する。
- (中央マルク県)
- CM1-1 SBM導入における市教育局の管理運営体制の現状及び実施段階における課題を整理、把握する(ベースライン調査を含む)。
  - CM1-2 学校配賦金支給に備えて、アンボン市内の対象校に関する必要なデータを収集する。
  - CM1-3 実施した調査から得られたデータの整理と分析を行う。
  - CM1-4 中央マルク県(アンボン島内)への「POBプログラム導入計画」を策定する。
  - CM2-1 「POB導入計画」に基づいて、教育局、学校関係者への研修計画を策定する。
  - CM2-2 教育局関係者へのガイドライン、フォーマットの使用に係る研修を実施する。
  - CM2-3 視学官を対象に、モニタリングに係る研修を実施する。
  - CM2-4 郡教育開発委員会メンバーへの研修を実施する。
  - CM2-5 対象地域の学校を対象に学校開発・年間計画策定能力強化研修(COPSEP)を実施する。
- (全体)
- Ge-1 POB導入効果を図るためのエンドライン調査を実施する。
  - Ge-2 エンドライン調査結果を分析し、マルク州政府他、州内の他の教育関係者を招へいたワークショップにて報告する。

活動実施計画 (Plan of Operation)

	2008												2009												2010												2011																						
	6			7			8			9			10			11			12			1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12				
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
成果 A1 (アンボン市)																																																											
A1-1	市教育マスタープラン実施チームと調整の上で、POB推進チームを編成する。																																																										
A1-2	SSM導入における市教育局の管理運営体制の現状及び実施段階における課題を整理、把握する(ペーシライズ調査を含む)。																																																										
A1-3	学校給食支援に備えて、アンボン市内の対象校に調べる必要なデータを収集する。																																																										
A1-4	実施した調査から得られたデータの整理と分析を行う。																																																										
A1-5	アンボン市政府側の教育マスタープランや予算計画との調整を行い、「POBプログラム導入計画」を策定する。																																																										
成果 A2 (アンボン市)																																																											
A2-1	POBプログラムの「学校運営ガイドライン」を検証し、市政府の既存ガイドラインと統合する。																																																										
A2-2	POBプログラムの「モニタリング・ガイドライン」を検証し、市政府の既存モニタリング・ガイドラインと統合する。																																																										
A2-3	POBプログラムで用いた各種の「フォーマット」を検証し、市政府の既存フォーマットと統合する。																																																										
A2-4	POBプログラムで用いた「ローカル・コンテンツ」を取り入れたカリキュラムを検証し、アンボン市政府で制作化する。																																																										
A2-5	対象校へ配布する学校交付金が各校の基本予算に基づいて適正に算出する。																																																										
成果 A3 (アンボン市)																																																											
A3-1	「POB導入計画」に基づいて、教育局、学校関係者への研修計画を策定する。																																																										
A3-2	教育局関係者へのガイドライン、フォーマットの使用に係る研修を実施する。																																																										
A3-3	初学習を対象に、モニタリングに係る研修を実施する。																																																										
A3-4	新教育関係者メンバーへの研修を実施する。																																																										
A3-5	対象地域の学校を対象に「開校・年間計画策定能力強化研修(CORSEP)」を実施する。																																																										
成果 A4 (アンボン市)																																																											
A4-1	対象校におけるPOBプログラムの導入状況を把握する「POBプログラム進捗管理フォーマット」を作成する。																																																										
A4-2	「POBプログラム進捗管理フォーマット」を使用し、各校のモニタリングを実施する。(連年)																																																										
A4-3	市政府教育関係者(マスタープラン実施チーム、初学習側)との進捗状況確認の定例会を四半期に一回ずつ開催する。																																																										
A4-4	POBプログラムの実施状況を検証し、アプローチなどの必要な改善を行う。																																																										
A4-5	JSGCにおいて、各校にのPOBプログラム進捗状況を報告する。																																																										



成果OM1 (中央マルクス県)	2008												2009												2010												2011					
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5						
	CMI-1 SBM導入における市教育局の管理運営体制の現状及び実施段階における課題を整理・把握する(ベースライン調査を含む)。 CMI-2 平成20年度に備えて、アンボン市内の対象校に関する必要なデータを収集する。 CMI-3 実施した調査から得られたデータの整理と分析を行う。 CMI-4 中央マルクス県(アンボン県内)へのFPOBプログラム導入計画を設定する。																																									
成果OM2 (中央マルクス県)	2008												2009												2010												2011					
OM2-1	FPOB導入計画に基づいて、教育局、学校関係者への研修計画を決定する。																																									
OM2-2																																										
OM2-3																																										
OM2-4																																										
OM2-5																																										

計画内。(全体)

5. Summary sheet for Training activities in Economic pillars

Summary sheet for Training activities in Economics pillars: "Local Manufacturing"

1. Agricultural Processing, Name of Implementations: Indonesia Export Training Centre (IETC), Total number of trainees: 170

	Target group		Occupation	Implementation of Activities		Present situation of target groups (date)	Findings around target groups
	Number of participants	Conducted Trainings (Date)		Equipments/ materials (Date)	Expected result		
Agricultural Processing Course (Middle)	30	ToT for Agribusiness (13-23 Nov. 2006)	Government officer (Province), University Lecturer, small scale producers	None	Support government staffs and lecturer to promote SME	Not confirmed yet	Some lecture and government staff already have the same training before.
	30	ToT for Agribusiness (29 Jan. - 8 Feb.)	Government officer (Province), University Lecturer, small scale producers	None	Support government staffs and lecturer to promote SME	Not confirmed yet	Training has got positive response from all participants.
	30	ToT for Agribusiness (5-15 Mar. 2007)	Government officer (Province), University Lecturer, small scale producers	None	Support government staffs and lecturer to promote SME	Not confirmed yet	Participants of training were selected by local department of Industry and Trade, so their staffs dominated the training participants.
Agricultural Processing Course (Beginner)	30	Basic of Agribusiness (11-22 Sept. 2006)	Small scale producers	None	Participants will be more inovatives and can compete at local market	Not confirmed yet	Training materials were about export, but the level of participants business were too small for this target.
	30	Basic of Agribusiness (19 Feb.-1 Mar. 2007)	Small scale producers	None	Participants will be more inovatives and can compete at local market	Not confirmed yet	Training materials had been adjusted as well as participants has become homogen.
	20	Basic of Agribusiness (16-20 Jul. 2007)	Small scale producers	None	Participants will be more inovatives and can compete at local market	Not confirmed yet	Participants proclaim their plan to form alumni before closing the course.

\*ToT: Training of Trainers

2. Marine products, name of implementor: BARISTAND Ambon, Total number of Trainees: 52

Village	Target group		Pre condition	Implementation of activities		Present situation of target groups (date)	Findings around target groups
	Number of participants	Conducted trainings (Date)		Equipments/ materials (Date)	Expected Results		
All sub-district at Maluku	28	11-19 Dec. 2006	District Government Officer, Small scale seaweed cultivator or collector	None	Improvement of smoked fish quality and its industry	Not confirmed yet	Many participants were having very small experience and skill.
All sub-district at Maluku	24	12-17 Mar. 2007	District Government Officer, fish processor	None	Diversification of sea weed product	Not confirmed yet	One participant has used the skill to make jelly out of sea weed and sell it at beach

Latuhalat (Christian)	4	The fishermen village, constally catching tuna and this particular one making smoked fish	5-8 Nov. 2007	Set of smoked fish equipment	They will start they business and increase the scale	Activity is very much depend on fish season	Only one received the oven and this is the second oven received.
Galala (Christian)	4	This particular oven receiver has made smoked fish for two generations, but they feel that many more people do the same, so order on their product already decreased considerably	5-8 Nov. 2008	Set of smoked fish equipment	They use less wood, spend less time and better quality of smoked fish product	Oven already replaced the conventional ones but for packaging, they prefer to use banana leaves	Only one received the oven and this one is to replaced the smaller oven, received by the same person.
Tulehu (Muslim)	4	The fishermen village, constally catching tuna but low skill and experience	5-8 Nov. 2009	Set of smoked fish equipment	They can use the oven for better income, especially on the high catches, fish preserved using the oven	Not confirmed yet	Only one received the oven etc.

Pre-condition of target group would be described as why they are selected as target group

#### Summary sheet for training activities in economic pillars: "Agriculture"

Name of implementator: Faculty of Agriculture, University of Pattimura, Total number of target group = 38, Total number of members: 205  
1. Baguala Sub-district

Village	Target group		Implementation of activities		Present situation of target groups (date)	Findings around target groups
	Number of member	Pre-condition	Conducted trainings (Date)	Equipments/materials (Date)		
Rumah Tiga	5	Non local people, high skill for agriculture, very diligent but not having big piece of land	25 Jul. 06; Sept. 06; 31 Oct. 06; 4 Nov. 06; 5 Nov. 06; 1 Nov. 07; 30 Nov. 07; 8 Dec. 07	Vegetable seeds, Equipment, fertilizers, pesticides	Still working with equipment given, already get trained on how to make organic fertilizer	Group were trying to open new areas, but fail because dry season was too long and no water available.
	5	Local people, wanted to learn new inovation	25 Jul. 06; 1 Nov. 07	Fertilizer for annual crops	Not very active because farmer use will be more productive depend on the nature action alone	Cacao with disease problem needs to be solved through crop sanitation
	5	Group realize the problem of production, local people	25 Jul. 06; 1 Nov. 07	Fertilizer	Not shows activity increase for cloves cultivation, farmer use to think that they know cloves for generations	Low production is also caused by wrong technical harvesting.

5	Before conflict already raised pigs, but lost all of them, local people	23 Oct. 06; 1 Nov. 07; 30 Nov. 07; 7 Dec. 07; 8 Dec. 07	Materials for cage, piglets 5 pairs, feed, medicine	Can start their economic activity again	Actively look after they cattle; some had already reproductive, will be able to enlarge business because they have space.	Two pigs died caused by disease on the anal, one pig was barren. Group seek advice from other group at Passo village, so they learn together.
5	Local people, wanted to learn new innovation	25 Jul. 06; 1 Nov. 07	Fertilizer	Can learn new innovation on annual crops.	Show the influence of fertilizer on long term crops.	The result is not so significant and difficult to see in the short term.
13	Non local people, high skill for agriculture, very diligent but not having big piece of land	25 Jul. 06; Sept. 06; 1 Nov. 07; 30 Nov. 07	Vegetable seeds, Equipment, fertilizers, pesticides	Can work in group and build trust in group	Show good progress on vegetable cultivation. Be able to have saving to anticipate the need in group.	Trust within and between groupis low and need to enhance through regular meeting.
5	Non local people, high skill for agriculture since already involved in many training before held by government, very diligent but need support for their agriculture activity	Sept. 06; 7 Nov. 06; 9 Nov. 06; 27 Oct. 07; 1 Nov. 07; 30 Nov. 07	Chemical and organic fertilizers, pesticides, water pump and sprayer	They become stronger group as a small institution, has no problem at all since they have group regulations and sanctions, leadership is very good.	Group can overcome problem of dry season through utilized of saving on provision of seeds again	Team of agriculture faculty worked well with those group and share knowledge and practice.
5	Local people, already have cacao trees	25-26 Jul. 06; 1 Nov. 07	Fertilizers	Harvest can be done with more care, group can learn the proper methods of harvesting	Group can apply the picking up cacao with proper equipment.	Cacao mut is still difficult to eradicate.
5	Mix of local and non local people, some of them has other job then become farmer	23 Oct. 06; 27 Oct. 07; 1 Nov. 07; 30 Nov. 07; 7 Dec. 07	Cage materials, 3 cows, wounded cream	Group has regulations and sanctions, they can discuss on how to support other group in form of revolving cows (giving the broodstock or the calves to a new group)	One member already replaced by new person since he moved to other area, which is far from where the group staying.	This group is also mix of christian and muslim member.
7	Fishermen and also having other small business such as motor taxi, selling fuel etc.	27 Oct. 07; 1 Nov. 07; 8 Dec. 07	Received gillnet 35 pcs	Give income to each member of group.	Except one of them simply did not use the net well since he prefer to do other business	They could not using the net in one piece (in group), so each of them get one shared and catch fish individually.
8	Local people, use to raise pig and cows before conflict	23 Oct. 06; 27 Oct. 07; 1 Nov. 07; 17 Nov. 07; 30 Nov. 07; 8 Dec. 07	Piglets 6 pairs, materials for cage and meal/feed materials	Starting activities again and get better income trough better breeding selection, caging of pig, ransom and deceases recognition.	Group had developed pig from 6 pairs of the 40.	Group needs financial capital to buy feed and to build new pig pen and plan to form new pig group.

Poka

3	Local people, used to raise chicken but would like to raise goats.	27 Oct. 07; 1 Nov. 07; 30 Nov. 07; 30 Nov. 07; 8 Dec. 07	Materials for cage, 7 goats	Having goat to create job and income.	Goats have developed from 7 to 11.	Goat diseases need to be solved as soon as possible; goats cage needs to be improved.
8	Non local people, use hired land to plant vegetables, skillful farmers	27 Jul. 06; Sept. 06; 1 Nov. 06; 3 Nov. 06; 5 Nov. 06; 27 Oct. 07; 30 Nov. 07	Seeds, fertilizers, fuel, pesticides	Group can learn technology of planting, which related to distance, method of seed spreading and using of pesticides safely	Actively planting vegetable every month	Received regular income, but they also have to hire land for cultivation which is more expensive from time to time.
5	Unemployee but recently have motorcycle to be used as public transport, mix of youth and elderly. They learned how to build floating cage together.	28 Aug. 06; Sept. 06; 23 Oct. 06; 27 Oct. 07; 21 Nov. 07	Materials for floating cage, fish juvenile, small boat, nets	They become employee and able to construct floating cage and do maintenance	They have to find the juvenile by capture in the bay, since the first harvest selling already been shared among them	Group were not distribute work equally make the shared of income were not satisfied received. Agriculture team already discussed about team work and build trust among member.
5	Local people, have land but not used. They are also selling sand taking from the river but have a lot of experience in growing pig before conflict. Members have relative relationship.	6 Oct. 06; 23 Oct. 06; 30 Nov. 07; 7 Dec. 07	Piglets 3 pairs, materials for cages, materials for meal.	To create outlet for income improving to group members involving in the pig business	Group have already increased number of pigs to 34 piglets, three pairs have been delivered to new group members.	One member of this group decide to do agriculture, while the rest continue with pig growing.
5	One member of pig raising group has already formed a new group of farmer working at other areas of agriculture in Passo.	15 Sept. 06; 12 Nov. 06; 30 Nov. 07	Vegetable seeds, Equipment, fertilizers, pesticides	The group is able to utilize the delivered assistances of seeds, tools and fertilizer to support their income improvement	Number of crops have been harvested and given appropriate income to the members involved.	This group has good team work shows that local people can work well in team.
5	Farmer group has cloves tree but they faced low production.	15 Aug. 06; 15 Sept. 06	Fertilizer	Improved land productivity, thus improve clove production	Clove farmers have known the new technology of using fertilizer for annual crops.	The impact of fertilizer on annual crops still difficult to see in the short term. Technical harvest need to improve.
3	Potential bee business is highly required but no technology possesses by the community groups in Poka	4, 5 Feb. 07	Materials for bee cages	Established of bee cultivation business with 10 boxes of bee hives.	The business faced problem of cultivation	To run the business with lack of site selection knowledge could result business failure.

2. Leihitu Sub-district

Village	Target group		Implementation of activities			Findings around target groups
	Number of member	Pre-condition	Conducted trainings (Date)	Equipments/materials (Date)	Expected Results	
Hitu lama	2	Group has limited knowledge in enhance annual crops productivity	10 Nov. 07; 1 Dec. 07	Fertilizer	Improve knowledge of farmers in cultivating of annual crops	Farmer has applied knowledge received and cultivation is still in the process.
	9	Women of non local people, have poor condition but have basic knowledge in agriculture horticulture.	10 Nov. 07; 17 Nov. 07	Vegetable seeds, fertilizers	They are able to contribute to family income and have saving in group.	They cannot continue planting vegetable because land becomes problem.
	5	Unemployed local people, need support with fishing equipment to increase their income.	10 Nov. 07; 20 Nov. 07; 1 Dec. 07	Gill net, small boat, outboard engine	Family life get better economic capacity.	They actively caught fish depend on seasonal condition.
	8	Local people with lack of knowledge in goat husbandry, need to increase family income.	10 Nov. 07; 20 Nov. 07; 1 Dec. 07	Materials for 2 units of cages, 8 goats	Local people should use knowledge of growing goat in appropriate techniques.	Group still has difficulties to adopt new innovation to raise goat.
	4	Local people, need assistance to start fishing activity.	10 Nov. 07; 20 Nov. 07; 1 Dec. 07	Gill net, small boat	People are able to catch fish using gill net	They received income by selling fish captured and able to provide for their daily needs.
	5	Youth group, local people and unemployed.	10 Nov. 07	Materials for 1 unit cage, 7 goats	Youth can have their own business .	Group has been formed and actively growing their goats.
	6	Group of local people, needs to set up fisheries business using their basic skill.	10 Nov. 07; 17 Nov. 07	Beach seine, small boat	The operation of beach seine can improve group of fishermen income.	They are routinely catching fish in their location.
	6	Potential vegetable is high but community (non local people) does not have seeds and tools to start the business.	10 Nov. 07; 20 Nov. 07; 1 Dec. 07	Vegetable seeds, Equipment, fertilizers, pesticides	Production of vegetable is sufficiently supported by this group.	They have successfully harvested first cycle production of vegetable.
	10	Farmers have difficulties to grow annual crops because of diseases, low production and price.	10 Nov. 07	Fertilizers	Farmer can increase production by improving skill in handling diseases.	They are able to adopt the new innovation delivered.
	Hitu messing					
						Distribution of income has been shared in transparent manner.
						Income improved already and shared with the land owner.
						Group still in growing crops process.

5	Local people with lack of knowledge in goat husbandry, need to increase family income.	10 Nov. 07	Materials for 1 unit cage, 7 goats	Local people should use knowledge of growing goat in appropriate techniques.	They still using conventional way of growing goats	Still low ability to change their situation although they understand the problem they face, goats still going around in the village, not been caged yet, although its already provided.
5	Fishermen, have experience to use beach net and they are in poor condition	10 Nov. 07; 17 Nov. 07	Beach net, small boat	Group can start they economic activity through assistant received	Group harvested $\pm$ 5 months	Group work 6 months only. They need engine to catch fish in the deeper sea.
7	Fishermen and in the same time farmers, local people. They are actively seek for support from outside so agriculture team seen them to have potential to develop new business and can be revolved to other new group.	10 Nov. 07	21 pcs net, 1 unit boat,	They can operate the net, earn more money in its season.	Fishing is only made in alternate with other agriculture activities when sea in calm. In other words, they are able to have occupation in all seasons.	Group was not elected by village secretary who usually point out his own family or relatives on his preference to received assistance. Their effort to get support was genuinely for economic development.
2	Group of farmers that need more information through extensions.	10 Nov. 07	Fertilizers	They can have better understanding on how to grow cultivation well	They are still need support on their agriculture business in form of materials	The village has groups of community member that has been split out basic on blood relationships, activity or political situation. This particular group is busy with economic activity.
5	Group of youth, no experience on using the machine but have other person to teach them.	10 Nov. 07; 1 Dec. 07	Chainsaw and sago grinder, 1 unit each	They can learned new skill and increased income with sago production.	They have other people to maintain its operation, who are more skillful. They were able to modified the machine to be more economics in using fuel.	The machine has been brought to Seram Island to be used for sago processing there.
6	Group leader have job as driver of sub district office's car, have land for agriculture, not have problem economically, but been elected to receive support because know the village facilitator.	10 Nov. 07; 24 Nov. 07; 1 Dec. 07	Materials for 2 unit cages, 7 goats	They have more economic activity after conflict, since they have lost all of their goat in conflict within internal villagers.	They already become stronger farmers and goats has multiplied.	Group was formed by facilitator (for all group in Hila). It seems that facilitator took people he knows and have skill only, without consider economic background.
7	Youth, unemployed, local people, not having enough skill on agriculture.	10 Nov. 07; 24 Nov. 07; 1 Dec. 07; 4 Dec. 07	Vegetable seeds, fertilizers, equipments	They were able to get job and be productive	Two of them have got job as teachers but still join the group after teaching.	They are able to enhance membership, knowing by village leader and expand the area of agriculture activity.

6	Fishermen, experience using trap for long time, members of group are in family and relatives	10 Nov. 07; 1 Dec. 07	Fish trap 5 units, small boat	They could generate income and get busy with new occupation. They can have saving although in a small amount	Group already catch fish, which have been consumed, sold and able to have saving.	So much dependen to assistant, they only revitalized this business with two new traps.
5	Formed by the need of information on how to increase productivity	10 Nov. 07; 1 Dec. 07	Fertilizers	The group got knowledge on annual crops cultivation.	Group knows how to fertilize crops.	Fertilizer influence long term in short term. Focus the training on technical knowledge.
8	Mostly one of village youth leader, willing to be the facilitator for groups, established in the village	Meeting on the 6th of the month (every month)	Received salary on this program monthly	They become reliable facilitator, able to pass the information or problem faced by group in each of their village	They have already known by community but wanted to be recognized by provincial government as well in order to continue their duty with other programs in their own village	Some of them had been recruited before JICA's MPO started; while some of them recruited by agriculture faculty team.

### Summary sheet for training activities in economic pillars: "Fishery"

Name of implementator: Faculty of Fisheries and Marine Sciences, University of Pattimura, Total number of target group = 17, Total number of members: 95

1. Baguala Sub-district

Village	Target group		Implementation of activities		Present situation of target groups (date)	Findings around target groups
	Number of member	Pre-condition	Conducted trainings (Date)	Equipments/ materials		
Leihari	5	Group of fishermen, but had lost everything	17 Dec. 06; 26 Feb. 07	Rumpon (Feb. 2007)	Rumpon has drift away by the very strong current in July 2007	Group has earn money and saving over then 1 million in 4 times capture.
	5	Occupation is fishermen, but they need to start program as they lost everything	17 Dec. 06; 20 Dec. 06; 21-22 Dec. 06; 26 Feb. 07	Rumpon (Feb. 2007)	Rumpon has drift away by the very strong current in July 2008	Group has earn money and saving over then 1 million in 4 times capture.
	6	Fishermen, have lost everything to do fishing	17 Dec. 06; 20 Dec. 06; 21-22 Dec. 06; 26 Feb. 07	Gill net, small boat, outerboard engine etc. (Feb. 2007)	Actively catch fish	Group has earn money and occupied women to sell their capture.
Hutumury, Toisapu sub village	6	IDP from Seram, fishermen, members are not related (family member)	18 Dec. 06; 20 Dec. 06; 21-22 Dec. 06; 26 Feb. 07	Gill net (Feb. 2007)	Actively catch fish	Group received boat just recently since the first one too small for net given.



	6	IDP from Negeri Lama, have relatives as group members and fishermen	18 Dec. 06; 20 Dec. 06; 21-22 Dec. 06; 26 Feb. 07	Gill net (Feb. 2007)	They can start fishing again.	Actively catch fish	Group has started earlier and the business has already support life of member.
Hative Besar	5	Returnee, need new equipment. They never received any support from government, have high skills.	17 Dec. 06; 20 Dec. 06; 21-22 Dec. 06; 26 Feb. 07	Long line (engine, small boat etc)	The fishing equipment can support economic life of the member	Actively catch fish	They were lived on fishing and more comfortable as fishermen as their occupation.
	4	Fishermen, economic difficulties, have high skill, have no land.	17 Dec. 06; 20 Dec. 06; 21-22 Dec. 06; 26 Feb. 07	Gill net	It support for income generating and get occupation again after lost everything in conflict	Actively catch fish	Able to make book keeping of their activity.
	5	Already have boat and gill net for fishing; the group leader is a woman; the members are youth of family and relatives.	17 Dec. 06; 20 Dec. 06; 21-22 Dec. 06; 26 Feb. 07	Outboard engine (Honda 5.5 HP) and paint	They can reach further areas of fishing since on the sea shore become more difficult to catch fish.	Actively catch fish	Only received outboard engine has already make them get better capture in their activity.
Laha	18	Purely fishermen, not having land for agriculture so their life depend on fishing. Have many experience and skillful. Member mostly in the family and relatives.	17 Dec. 06; 20 Dec. 06; 21-22 Dec. 06; 26 Feb. 07	Purse seine boat	Can absorbed unemployee as well as giving work to the community around them by having women as fish seller.	On the way to have new engine since the old one cannot reliable anymore, by support of Fishery Faculty team. Boat making has already finished.	Group leader built up boat with his own techniques and supported by little number of people, other member had to work for their life. Eventually it is finished after such a long time of process. Group wanted to expand the fishing area in order to get better capture.
	6	Fishermen, have lost everything so need support to start fishing again; economically poor.	20 Dec. 06; 21-22 Dec. 06; 26 Feb. 07	Gill net	Member of group can get fish, to be consume ot to be sold in the market.	In operation except for rough season	Net was torn by the ship which leaving Ambon bay. Group was able to maintain the damage.
	6	Fishermen, have lost everything so need support to start fishing again.	20 Dec. 06; 21-22 Dec. 06; 26 Feb. 07	Gill net	Group have their job, become more productive and generate income	In operation except for rough season	Most of groups locates in the areas of outer Ambon bay complained on fish captured become less from time to time. They know the problem is so many rumpon on the west of Ambon island already attracted fish schooling. Therefore, according to them, their economic life will be depend on the government policy of fishing investor in putting their device in the Ambon water.

2. Leihitu Sub-district

Village	Target group		Implementation of activities		Present situation of target groups (date)	Findings around target groups
	Number of member	Pre-condition	Conducted trainings (Date)	Equipments/ materials (Date)		
Mamala	12	Group idea to utilize their resources for economic activity. Mix of farmer, fishermen and unemployed.	20 Dec. 06; 21-22 Dec. 06; 18 Jan. 07	Fish pond material (cement, pipe, wood etc.)	They are actively working to fix the damage by the flood and ready to fill pond with fishes that are taking from the shore along the village	Group got very strong support from the head of village, in this case as facilitator as well.
	12	Women that want to be empowered and utilized their time to learn and be productive	19, 22 Nov. 07.	set of fish processing and pellet making (weight, sieves, mincer, blender)	Looking for more information on shops selling fish meal and prices	The activity of fish pond has already involved these women in the village to learn on making pellet for fish meal.
Morela	5	Fishermen, poor condition and need support, very little skill on fishing and net maintenance	20 Dec. 06; 21-22 Dec. 06; 26 Feb. 07	Gill net, outboard engine, small boat	They still active catches fish for family and to be sold in the market.	This group is representative Christian and Muslim relationship built again within JICA project. This group can rely on support of group from Hatibe Besar in construction of their gill net.
	4	No job but having skill to catch fish with long line; relatively poor, work anything when the sea is in rough seasons.	20 Dec. 06; 21-22 Dec. 06; 26 Feb. 07	Long line, small boat, outboard engine	They still active catches fish for family and to be sold in the market.	This group was grateful to meet Unpatti team prior to meet village leader, since they believe that if the team met village leader first, they would never received assistant. They know that all the support from outside will go to leader's family or relatives.
All villages	6	Mostly one of village leader, they have commitment to be the facilitator for groups established in the village	15-17 Jan. 07; 26 Feb. 07	None	Groups of facilitator know well JICA program in their villages and its got strongly support	They got intensive training and it was held specifically to six facilitators from each village.

				Jealousy	The woman met PA, PA approach her parent in law and her husband; - mediating them - giving advice	The family rukun lagi	
			October 2007	Saling menyindir between parent in law and daughter in law	ojek driver wanted to earn money more then other drivers - person a drive out of his turn - person b got angry directly hit person a - they fought each other - person a went home taking a knife and made effort to find person b	Both of them can do their job again	
		Ampi Takaria	Oktober 2007	Ojek drivers fight each other	- Family of person b report the occurrence to PA - PA took action: meet person a		
			24 April 2007		- PA talked to the executors ( young Christian men) - Since this sensitive case, PA sent the case to police	The fighting groups became neutral because intervention of PA and police	- This kind of case has potential to bear religion-based conflict - Such case cannot be intervened by PA because people recognise their religion; it must be tackled by police institution
			Mei 2007	Tawuran antara students of 2 SMP	- PA was informed by people around the school who knew the case - PA report to police - The case was tackle by police	By police the problem was stated over	School as formal institution out of village cannot be intervene by PA, the case was sent to police
		Samsudin Rumbia	July 2007	Quarrel between neighbour	- PA mediated; met each of the families	Relationship of the families started to going well again	
			March 2007		- Other people around them report the case to PA - PA intervene; mediated the fighting people	Relationship of father and son started to going well again	

					June 2007	Fighting between groups of young man from Leahari and Ema	<p>Emah villagers occupied land in Leahary vicinity. They also burnt some trees in Leahary's land.</p> <p>Leahari villagers forbid them They hit each other with stones They threat to kill one another</p> <p>Young men (in group) got drunk</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- One of the drunken men irritated other man who was not drunken</li> <li>- They fight each other</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- PAs were asked by other villagers to calm down Leahary group</li> <li>- PA called police to intervene</li> <li>- Head of village was informed, he called PA to tackle the problem</li> <li>- PA come to the place where the fighting took place and talked to the men</li> </ul>	<p>expansion of conflict with Emah villager could be prevented</p> <p>The fighting men forgive each other</p>	<p>Long time conflict</p> <p>This kind of problem used to be tackled by police but since PA were in the village, PA replace the role of police</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- PA was helped by the training</li> <li>- other villagers learned that violence must not be the way to solve any problem</li> </ul>		
					February 2007	Fighting between neighbours	<p>Patty planted something in land of Hahury</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- wife of Patty was banned by Hahury in good way</li> <li>- Hahury slapped Patty's woman</li> <li>- The woman told what she experienced to her husband</li> <li>- Patty asked politely but Hahury replied roughly and asked for fighting. They did</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- PA were asked to handle the problem</li> <li>- PA mediated the fighting families; met each family separately few times till one day bring them to meet and talk to each other</li> </ul>	<p>Relationship has been</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- PA were asked to handle the problem</li> <li>- PA mediated the fighting persons;</li> </ul>	<p>Concern people have willing to built better relationship</p>	
					October 2007	Fighting between families	<p>Caused by border of land</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Person a picked clove from person b</li> <li>- There was fighting between the person</li> </ul>					

General comment:

- Before training majority of the PAs never worked for peace management in their community.
- Being trained was great experience for them. Some of them are honourable working as PA
- Overall, PAs work as partner of village government. Some cases that related to communal conflict and religious-based conflict were hand over to police. But in many cases, the cases were initially handled by PA prior to police as well as bridging the fighting (conflicting) people to police
- Work of PAs has established a sort of community-based peace management